

今年度初めての朝会は、六小の開校記念日でした。子供たちが、六小のいいところをたくさん見つけ、良さを広げてくれることを願っています。5・6年生に書いてもらった感想をいくつかご紹介しますので、ご家庭でも話題にさせていただけたら幸いです。

<朝会で話した主な内容> テーマ：「開校記念日に寄せて」

今日は、第六小学校の69回目の開校記念日です。昭和25年4月15日を開校記念日として校章とバッジが定められました。多くの皆さんが知っていると思いますが、校章「ひまわり」の17枚の花びらは、開校当時の教職員の数がデザインされています。子どもも教職員も太陽に向かって成長し続ける学校、それが六小です。ひまわりのように明るく心を向いて、いろいろなことに取り組んでほしいと思います。

始業式から一週間が過ぎましたが、六小の皆さんは本当によくあいさつができるなあと感じています。その理由の一つは、職員室を通るときや先生たちとすれ違うとき、あいさつをするように上の学年の人が教えてくれていることが挙げられます。もう一つの理由は、あいさつをしたり人と関わって仲よくすることの気持ちよさを皆さんがこれまで学んできたからだと思います。元気な言葉や優しい言葉を聞くと、人は笑顔になります。どうか、学級や学年の友達以外にもいろいろな人とあいさつを交わして、仲良くなってください。そして、上の学年の人たちがこれまで伝えてくれた六小のいいところを広げていってほしいと思います。

外で遊んでいてもチャイムの合図がよく守れること、学級や委員会など任された仕事をしっかりやれること、興味をもって工夫して学習に取り組むこと、まわりの人たちに感謝の気持ちを表すことができることなど、校長先生が見つけた六小のいいところはたくさんあります。皆さんが考える六小のいいところは、どんなことでしょうか。学校の誕生日をお祝いするとともに、一人一人が六小と六小に通う自分たちに誇りをもち、70年、80年とよい伝統を受け継いでいけるように心をこめて物事に取り組んでほしいと思います。

- 1 六小は今年69年目の誕生日を迎え、私たちが69年目の最高学年だということを感じた。この学校は、よくあいさつできていると言っていたので、これからも続けていく。
- 2 私が、「ここはいいな。」と思うところは、校長先生と同じようにあいさつすることと、どのクラス・学年も協力し合えることです。6年生を中心として、良いところは伸ばしつつ、課題のところは直していきたいです。そうして、課題があまりなく、良いところいっぱいの学校にしたいです。
- 3 六小の開校記念日が今日で69回目ということに驚きました。そして、「あいさつ」という六小のいいところも、きっと長い間あったんだと思います。その六小のいいところを、ずっと先まで残していきたいです。
- 4 今日は、69回目の開校記念日。私達は高学年だから、もっとあいさつを頑張ろうと思った。1～4年の低学年にあいさつのことを教えたい。みんながあいさつであふれる学校にしたい。学校のスローガンを守っていきたくと思った。
- 5 六小が今日で69周年だったことにびっくりした。70周年を迎えられなくて、少し残念だと思った。新しく入ってきた先生は、みんな六小のあいさつをほめてくれるから、もっと頑張ろうと思った。
- 6 私が思う六小の良いところは、あいさつだったり、仲が良いところや、やる時はやるどころ、集中する力、思いやり、元気な子がたくさんいることが、六小の良いところだと思います。行事などで協力して、楽しいことを自分たちで作り上げられたり、授業で先生の話をしっかり聞けたりすることができるのが六小のいいところだと考えることができました。
- 7 「今日が六小ができた日」と聞き、今日は「六小に感謝の気持ちで勉強をしなきゃな。」と思いました。しかも、私のじいじは、六小の一番最初の1年生なので、少し不思議な気持ちになりました。
- 8 「心をこめて物事に取り組む」というのは、なるほどと思い、目標にしたいと思います。
- 9 私の六小のいいと思ったところは、一つ一つのクラスが先生と生徒で協力して頑張っているところです。低学年と高学年が協力して、共に学校生活を送っていることです。理由は、なかよし班給食、1年生のお手伝いなどをして、分からないところを教えて、1年生が楽しく学校生活を送っているからです。
- 10 私は、月曜日の朝早く来ているPTAの皆さんや代表委員の方たちがあいさつをして、「かっこいいな」「私ももっとあいさつしたい」などと思いました。校長先生の話聞いて、いろんなときに会った人にあいさつをしたいと思いました。